

## 第3回「残す手法は？」

「存続のために1」 どうすれば大事な建築を残せるのか



都心部で巨大な再開発（再々開発）が計画され、多くの近代建築が失われていった。今後さらに、ターミナル駅周辺で既存建築を解体・超高層化する計画が多数ある。その一つが東京海上ビルの再開発。このような再開発はなぜ起こり、なぜ解体から守れないのか。そこで、今回は、「残す手法は？」ということで、再開発問題についてメスを入れる。今後の脱炭素社会を視野に入れ、「大事な建築の存続」という視点で、政治の問題点、景観の問題点、超高層を残す技術論から、残す手法を議論する。

政治や行政、構造設備の技術な観点、リノベーション手法から、東京海上ビルの存続の在り方を考える。

■日時 : 5月13日（金）18:00~20:00（受付17:30）

■場所 : 建築家会館本館1階ホール 東京都渋谷区神宮前2-3-16

■パネラー

- ・上田 令子 都議会議員
- ・神田 順 東京大学名誉教授、建築構造家
- ・未定 建築設備家（打診調整中）

（司会進行） 宮田多津夫

■参加人数 : 会場50名（先着順） WEBオンライン参加（100名） 共に無料  
会場にてTMIBを守る会への活動寄付金と、書籍「え、ホントに壊す？東京海上ビルディング」を販売します。ご協力下さい。

■申込方法 : メールにて申し込みください Eメール: [jimu@tmiblove.com](mailto:jimu@tmiblove.com)  
※オンライン参加をご希望の場合はその旨お書きください。（100名）